

編集ノート

本号は、李伯元を特集してみました。と書けたら格好がいいのだが、それほどの実力があるわけではない。偶然、集まってきたのだ▼珍しい写真とともに、「亜東破仏伝略」を寄せられた彭長卿氏は、現在、上海市第56中学で教鞭をとっていると聞く。周旋して下さった魏紹昌氏に確かめてはいないが、彭長卿氏は亜東破仏彭翁と同姓であり、子孫ではないかと推測している▼呉泰昌氏は、1937年生まれ、安徽の人。1955年、北京大学中国文学系入学。1960年卒業。1964年、北京大学文艺理論批評研究生として業をおえ、現在、中国作家協会会員であるとともに、『文芸報』で編集の仕事についている。氏のお手紙によると、清末小説に興味を持った経緯は次の通り。北京大学中文系文学専門化 1955 級集体編著『中国文学史』（北京人民文学出版社1958）近代小説部分の執筆に参加したのが始まりで、次いで『中国小説史稿』（北京人民文学出版社1960）にも参加する。その過程で当時、病を得て北京香山で療養していた阿英と知り合い、熱心な指導を受けるととも

に貴重な資料をも借りたという。以来、交際が続く。60年代初め、阿英が『晚清文学叢鈔』を編集したおり、呉氏も資料調査の手伝いをした。阿英の死後、『阿英文集』上下巻（香港三聯書店1979）を編集、「阿英著作目録」を作成、「編後記」を書く。その他の編集本に、阿英『小説三談』（上海古籍出版社1979）、阿英『晚清小説史』（校訂。北京人民文学出版社1980）、李一氓『一氓題跋』（北京三聯書店1981）がある。近・現代文学研究の論文集『芸文軼話』（安徽人民出版社1981）は専著だ。夫人・錢小雲氏の父はほかならぬ阿英である▼ハガキ通信を出して14号。以下はその内容。第1号呉趺人「還我魂靈記」の発見。第2号曾孟樸『孽海花』初期版本間の異同。第3号遊戯主人選定『庚子蕊宮花選』。第4号『新小説彙編』のマイクロフィルム。第5号魏紹昌編『呉趺人研究資料』。第6号中華書局に独立された商務印書館。第7号「曾孟樸先生年譜」に見える日本人・金井雄。第8号劉鸚遺著『鉄雲詩存』など。第9号憂患余生連夢青という人。第10号陳季同一ロマン・ロラン—陸樹藩。第11号呉趺人「還我魂靈記」の広告主・黄礎玖。第12号『官場現形記』増注本の系統。第13号日本吉田太郎『官場現形記』。第14号清末文学雑誌5種影印版の発行。無料で送る。樽

清末小説研究 第5号

発行日■1981年12月1日

実 費■980円（送料 200円）

編集兼
発行人■樽本照雄

印刷所■早稲田大学印刷所

発行所■清末小説研究会

〒520 滋賀県大津市

打出浜 8 番 4-504

樽本照雄方

振替 大阪 9-40475

野草第27号

気がついてみたらもう10年いろいろ大特集

文学の現在 その3

創作の現在

王蒙の近作について……………	相浦 杲
野草・老二黒離婚・山薬蛋派……………	釜屋 修
「作品」の小説について……………	名和又介
張弦作『記憶』賛……………	鄭 万鵬／荒岡啓子訳

研究の現在

「中国現代文学史」諸本の検討

文学革命期の胡適……………	牧戸和宏
“文学史観”と“文学的事実”のはざま……………	阪口直樹
文芸講話が批判した作家たち……………	岡田英樹
現代文学史における瞿秋白……………	斎藤敏康
現代文学史における『子夜』……………	石黒雍英
中国近代文学研究は復活しつつあるか……………	樽本照雄

大小仲馬憂き目を見ること……………	興膳 宏
文学運動の研究について……………	坂本正博
茹志鵬の作品について……………	細谷草子
郁達夫と木村毅著「小説研究十六講」……………	鈴木正夫
中国児童文学小史(1)……………	新村 徹

魯迅特集 その7

『兩地書』原信拾い読み……………	丸山 昇
紹興の船……………	丸尾常喜
『藤野先生』小論……………	三宝政美
厨川白村と1924年における魯迅……………	中井政喜
魯迅の「懐旧」について……………	池沢実芳
「摩羅詩力説」材源考ノート(15)……………	北岡正子
北京往日抄……………	澤田瑞穂
香港中文大学に留学して……………	瀬戸 宏

清末小説研究

商務版『説部叢書』について……………	中村忠行
呉趺人の『俗皮話』について……………	麦生登美江

古典文学研究

柳宗元永州望郷詩……………	下定雅弘
陸遊と螢……………	入谷仙介
旧詩から新詩へ……………	松村 昂
飛び入り参加の記……………	武藤康代
『野草』第25号合評……………	太田 進

資料

巴金年譜Ⅱ……………	嶋田恭子
------------	------

清末小説研究

第 3 号

1979年12月1日発行 ■980円 (送料 200円)

〔特別寄稿〕

《冰山雪海》は冒名李伯元編訳の一本仮貨…魏 紹昌 (1)

〔参考資料〕 冰山雪海……………楊 世驥 (5)

魏紹昌氏のこと……………樽本 照雄 (7)

清末探偵小説史稿(二) ……………中村 忠行 (10)

金松岑と曾樸の『華海花』……………麦生登美江 (61)

金港堂・商務印書館・繡像小説……………樽本 照雄 (74)

呉研人研究資料目録……………中島 利郎 (114)

I 著訳目録…………… (114)

II 文献目録…………… (127)

〔新出資料〕 還我魂靈記……………我佛 山人 (134)

第 4 号

1980年12月1日発行 ■980円 (送料 200円)

〔新出資料〕 滬上有感……………秋 瑾遺墨 (1)

秋瑾自筆「滬上有感」のことども……………麗 沢 生 (3)

閑談『繡像小説』……………澤田 瑞穂 (5)

清末探偵小説史稿(三・完)……………中村 忠行 (10)

賽金花アルバム…………… (67)

關於賽瓦公案の真相……………魏 紹昌 (73)

曾孟樸の修学……………樽本 照雄 (85)

商務印書館と夏瑞芳……………沢本 郁馬 (112)

清末小説研究会

〒520 滋賀県大津市打出浜 8 番 4-504 樽本照雄方 振替大阪 9-40475

野草第28号

中国文芸研究会

〒大阪経済大学内
大阪東淀川区大隅8-32-38
7-2-468

当代文学再評価の観点……………	阪口 直樹
中山大学鐘樓文学社刊《紅豆》紹介……………	岡田 英樹
茹志鵬「百合の花」の創作経過……………	細谷 草子
丁玲の「也頻と革命」について……………	福家 道信
帰国後の陶昌孫……………	太田 進
山西からの写真……………	釜屋 修
賽金花とヴァルデーゼーの 噂の真相……………	魏紹昌／沢本香子訳
郁達夫と木村毅著 「小説研究十六講」(続)……………	鈴木 正夫
中国児童文学小史(2)……………	新村 徹
「摩羅詩力説」材源考ノート(6)……………	北岡 正子
巴金年譜Ⅲ……………	嶋田 恭子
一九七九年中国文学雑誌作者作品目録 (A～M)……………	高島俊男／伊藤和子／江崎瑞枝
『野草』第26号を言い放つ……………	樽本 照雄

■ 1200円 (送料 200円)

人民文学 総目録・著 訳者名索引

雑誌『人民文学』は、中華人民共和国成立と同時に創刊(1949年10月)され、1966年文化大革命の開始によって一時休刊するまで全198期が発行された(1976年1月復刊、現在継続発行中)。

全国誌の性格を持つ文学専門雑誌として、休刊までの16年間、一貫して文学界における指導的な役割を果たしてきた。それ故、同誌に掲載された数多くの話題作、問題作を見て行けば、現代中国文学の基本的な流れをかなり忠実に理解することが可能である。『人民文学』に触れずして現代中国文学研究は成立し得ないと言っても過言ではない。

総目録 ● 1966年文化大革命によって休刊するまでの全198期の総目録を収める。

● 各期の目録をもとにし、事項の一つひとつを本文で確認の上、目録に採られていない項目も採取した。● 簡化字を用いた。

著訳者名索引

● 著訳者別に作品名を記し、著訳者別作品目録をも兼ねる。● 漢語拼音字母の順に排列した。

■ A5判 ■ 上製本 ■ 310頁 ■ 定価9,000円

采華書林

〒464 名古屋市中種区末盛通4-17 藤栄ビル2階 振替名古屋4185